



日本共産党文京区議会議員
まんだち幹夫通信
2008年 春号

“みなさんをいつもまんなか”

■区議団控室：5803-1317 (直通)

■自宅：Tel・Fax 3814-3935

メール：mandachi@jcp-bunkyo-kugidan.gr.jp

保育園に、入れない!?

“待機児ゼロ”へ、区立園の増設を基本に

本年度予算には、これまで私たちが要望してきた、「妊婦健診の公費負担拡大(14回に)」「全区立保育園での緊急一時保育」：など盛り込まれました。区民の声と議会との連携の重要な成果です。

この4月、保育園の入所待ちは大幅に増!

しかし一方で、保育園へ入れない方が増えているということが大きな問題になっています。今年の区立・認可保育園の応募を締め切った時点では、

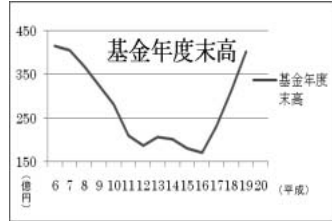
じつに334人が第一希望からはずれました。文京区は今、『人口20万人回復大作戦』とキャンペーン



保育園での給食タイム

「上の子どもとくきは簡単に入れたのに」
白山のAさんは、一番下の子どもさんも保育園に応募しようとして区役所に問い合わせると「むずかしいですね」と申請もできませんでした。小学生の兄のときは問題なく入れたのに、と嘆いています。「おじいちゃんにも無理をお願いし仕事をせざるを得ない」と言っています。

区立保育園の増設を渋る理由に、経費の問題があります。「限られた財源を有効に」とよく言われますが、区財政はどうなっているのでしょうか?
予算審議でも区財政の現状が議論されました。起債(借金)残高は減り、基金(貯金)は、昨年度80億円以上積み増して、今や約400億円です。そもそもこれは、住民税の増税、定率減税の廃止などの影響です。財政が潤沢な時代からこそ保育園をはじめとした区民のための事業を充実させるべきです。



豊かな区財政は、くらし・福祉・教育に使うべきです

区貯金 400億円

おひとりでお悩みご相談ください!

法律・生活相談会

毎月、「まんだち幹夫事務所」にて、地元弁護士の協力を得て開催しています。お気軽にご相談ください。

文京区小石川2-23-7
電話 3868-8355 または、日本共産党区議団控室へ

なぜ燃やす? プラスチックごみ

「サーマルリサイクル」：23区でも態度はバラバラ

今年10月から実施予定の「サーマルリサイクル」に不安の声があがっています。今まで「不燃」だったものを、一部除いて「可燃」扱いにする、そして燃やした電力を再利用するというものです。(ほんとうに燃やして大丈夫なの?) という声が事前に実施されたモデル地区からもでています。現に、東京23区内でも、「サーマル」実施に参加しない区は約半数です。まずは多分別再資源化の徹底が先では?

2008年 予算審議で質問

まんだち 幹夫

母子家庭への支援

母子家庭の母親の自立と職業訓練への給付事業が始まります。

しかし給付されるのは訓練の終了時。手元に資金がなければ制度が受けられません。実効性のあるものにする見直しが必要です。

住民基本台帳ネットワークへの予算は反対します

国民の「総番号制」に道をひらき個人情報保護に抵触することが懸念されます。取扱いは慎重にすべきです。人権侵害の恐れのある時は接続の停止などの条例上の対策を取るべきです。

青少年の「居場所」施設を

中高生がいきいき集える場所があれば...とっていました。杉並区の「ゆう杉並」を見学し、「文京区でもぜひつくりたい」の思いをこめ、予算員会でも取り上げました。子どもたちの自主性、願いを応援したいです。

商店街の振興と対策

原油高騰の影響の大きい業者のひとつ、クリーニング業への助成を求めました。溶剤・ホルダー・ハンガーなどほとんど石油製品です。お客さんへの転嫁もできません。渋谷区では4月から助成制度が始まります。文京区でもどうしても必要です。

営業に苦しむ 業者の生の声を聞いて!



地場産業である印刷・製本業が大変です。「昨年後半から極端に仕事が減った」「単価をたたかかれる」...こんな話をどこでも聞きます。区の振興策がなかなか見えてきません。すべての業者を対象にして職員が現場に足を運んでの実態調査を行い、「地場産業振興ビジョン」を策定するなど、積極的支援を急ぐことが必要です。

この歩道の幅でベビーカーと歩行者はすれ違えない...とあっていました。柳町小学校の周りの歩道整備が今年度中に実施されます。歩道を1.5〜2mに広げ、段差も解消されるようです。業務用の車も頻繁に通る道だけに、この工事が歩行者にも近隣のみならずにも喜ばれるようになることを願っています。



柳町小学校 周辺の歩道 バリアフリー整備工事が 始まります



まんだち目録

- ◆1月20日 「新大塚公園を守る会」の報告会に出席。2年間の活動のとりくみが報告され、粘り強く、工夫を凝らして運動をひろげ公園を守ったことはすごいことです。
- ◆2月8日 「将来ビジョン検討会」傍聴。今回は統廃合計画の元になった「年次計画」の扱いをめぐって議論。発言者の大方が「白紙撤回」を求めたのが特徴です。
- ◆3月12日 今週は白山駅頭で早朝の宣伝。先月志位委員長が衆院予算委員会では「赤旗号外」を配布しましたが、さすが反応が大きいのかよく受け取ってくれます。
- ◆3月25日 区立小学校の卒業式。私は「母校」の礪川小へ。顔見知りの児童、保護者も多く、式典での誓いの言葉合唱には目が潤みました。みんながんばれ!



区政報告と後期高齢者医療制度の廃止を求め街頭から中島つかね予定候補(写真左)と萬立幹夫